

業 務 の 名 称	石礫河川における三次元局所流と非平衡流砂運動を考慮した河岸・堤防の侵食解析手法の開発
業 務 概 要	本研究は、非静水圧準三次元解析法(Q3D-FEBS)と石礫河川の河岸形状と粒度分布に応じた流砂運動を取り込んだ非平衡流砂モデルを組み合わせ、河岸、堤防の侵食、洗掘を表現できる新しい解析手法を構築する。さらに常願寺川現地実験を対象に本解析法を検証し、河岸・堤防の侵食機構を解明する。そして、常願寺川の河岸、堤防侵食の危険箇所及びその被災規模を検討するとともに、侵食による被災リスク評価に対する本手法の適用可能性を明らかにするものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 木村 嘉富 茨城県つくば市旭1番地
契 約 年 月 日	令和3年7月9日
契 約 業 者 名	学校法人中央大学
契 約 業 者 の 住 所	東京都文京区春日一丁目13番27号
契 約 金 額 (税 込 み)	¥9,746,000
予 定 価 格 (税 込 み)	¥9,746,000-
随意契約によることとした理由	本委託研究については、国土交通省水管理・国土保全局により設置された学識経験者等からなる河川技術評価委員会において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準に基づき審査された結果、令和2年1月、本研究課題及び委託先(中央大学竹村吉晴を研究代表者とする研究グループ)が選定されたものであり、令和3年3月に同会議で中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、新規採択時の審査基準、選定結果及び令和3年3月の中間評価結果等については、国土交通省水管理・国土保全局ホームページ等で詳細に公表されている。 以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記委託先と随意契約するものである。
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間 (自)	令和3年7月10日
履 行 期 間 (至)	令和4年3月29日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数 考 備	-